



©Yuki Asada

## ヤシの葉の製品で村を豊かに

真っ青な空の下、風に吹かれてゆらゆらと揺れる大きなヤシの木一。

ベトナムの首都ハノイから北へ約2時間半、フート省にあるゼン村には、都市の喧騒からはかけ離れた優雅な田園風景が広がっている。ベトナム最初の王といわれるフン王<sup>まつ</sup>を祀る寺院があることで有名なこの地域。“ベトナム人祖先の土地”として名高いが、現在は、深刻な貧困問題を抱えている。

農業中心の生活の中で、新たな産業が生まれれば、村も活性化するはずー。ベトナム政府は5年前から、この土地の象徴であるヤシの葉を使った“ノン”（すげ笠）の製作をサポート。青年海外協力隊の岡崎恵美さんもこれ

に注目し、観光客をターゲットに商品開発を進めてきた。

JICAは岡崎さんの帰国後もこの取り組みを後押しすべく、今年5月から、シンガポール国際財団と協働でボランティア派遣を開始。シンガポール側はデザイン開発を、日本側は新規販路の開拓を担当し、ノン<sup>まつ</sup>を村の特産品として定着すべく奮闘している。

「シンガポールと日本、それぞれのボランティアの専門性が重なり、いい効果が生まれています」と村落開発普及員の土居義範さん。「村の人々が安定した収入が得られるように、彼らをリードしていきたい」と意気込む。

アジアの若者の力が一つになり、

“ゼン村産ノン”がベトナム各地で見られるようになる日もそう遠くない。



ノンの品質改良について、村の女性と話し合う協力隊員（右）とシンガポールのボランティア（中央）

★ノン<sup>まつ</sup>を1人、ヤシの葉の小物（3点セット）を1人の方にプレゼント！ 詳細は38ページへ→

